(一財)日本建築総合試験所
建築技術性能証明　評価シート

【技術の名称】 大和ハウス式地震対策天井工法 ーブレース接合部およびクリップ接合部に専用補強金物を用いた地震対策天井工法ー（改定1）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 20-03 号 改 1 性能証明発効日：2023 年 3 月 30 日 【取得者】 大和ハウス工業株式会社

【技術の概要】

本技術は、天井面に生じる水平力を専用の補強金物（D タフコネクト）からブレース（斜め部材）に伝達して抵抗することにより、天井面の水平変形を抑制する天井工法に関する技術である。また、既存のクリップの他に専用のクリップ補強金物（D タフクリップ）を追加し、地震時における鉛直支持性能の向上を図っている。

【改定の内容】

新規：GBRC 性能証明 第 20-03 号（2020 年 6 月 9 日）
改定1：GBRC 性能証明 第20-03 号 改1（2023 年3 月30 日）

- 適用範囲に既存建築物を追加
- 天井の設計用許容耐力の上限値を変更
- 水平震度の計算ルートを追加
- ブレースの配置ルールを変更
- ３種類のブレース上端接合金物を追加
- クリアランス算定式を修正

【技術開発の趣旨】

本工法は、近年発生している地震時にみられる天井の被害を低減させることを目的とした技術である。ブレース接合部およびクリップ接合部に専用の補強金物を用いた地震対策工法で、申込者の独自工法として開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「大和ハウス式地震対策天井工法　設計施工指針」に従って設計・施工された天井は、以下の性能を有する。

1) 国土交通省告示第 771 号で求められる壁とのクリアランス 6cm に対して、天井吊り長さやブレースの支持条件に応じてクリアランスを設定できる。
2) 地震時における鉛直支持性能の向上を図ることができ、鉛直方向 1G の地震力が生じた場合でも天井下地の損傷を無くすことができる。

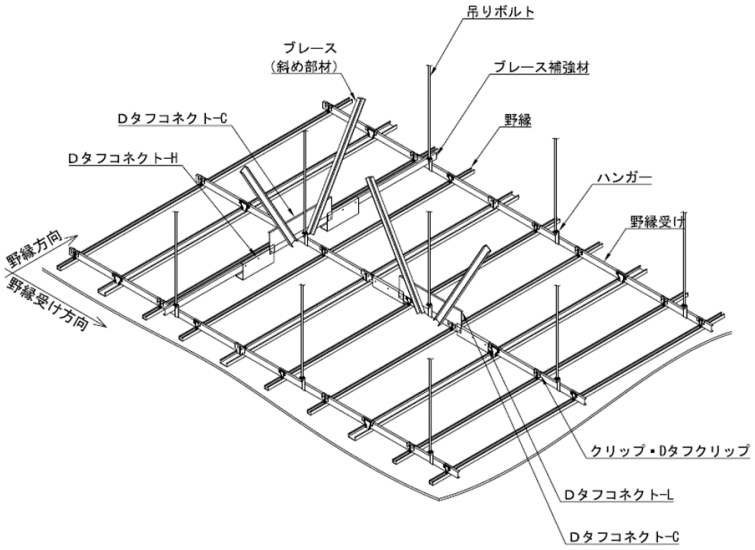

図１　本技術の構成

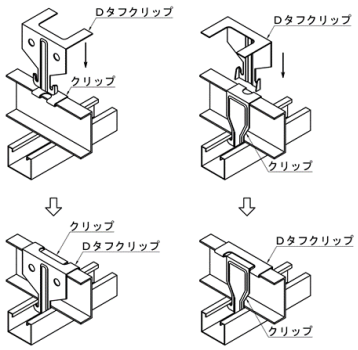

図２　クリップ接合

【本技術の問合せ先】
大和ハウス工業株式会社　総合技術研究所　　担当者：武佐 サライデン　　E-mail：salaydin@daiwahouse.jp
〒631-0801　奈良県奈良市左京 6 丁目 6 番地 2　　TEL：0742-70-2110　FAX：0742-72-3060